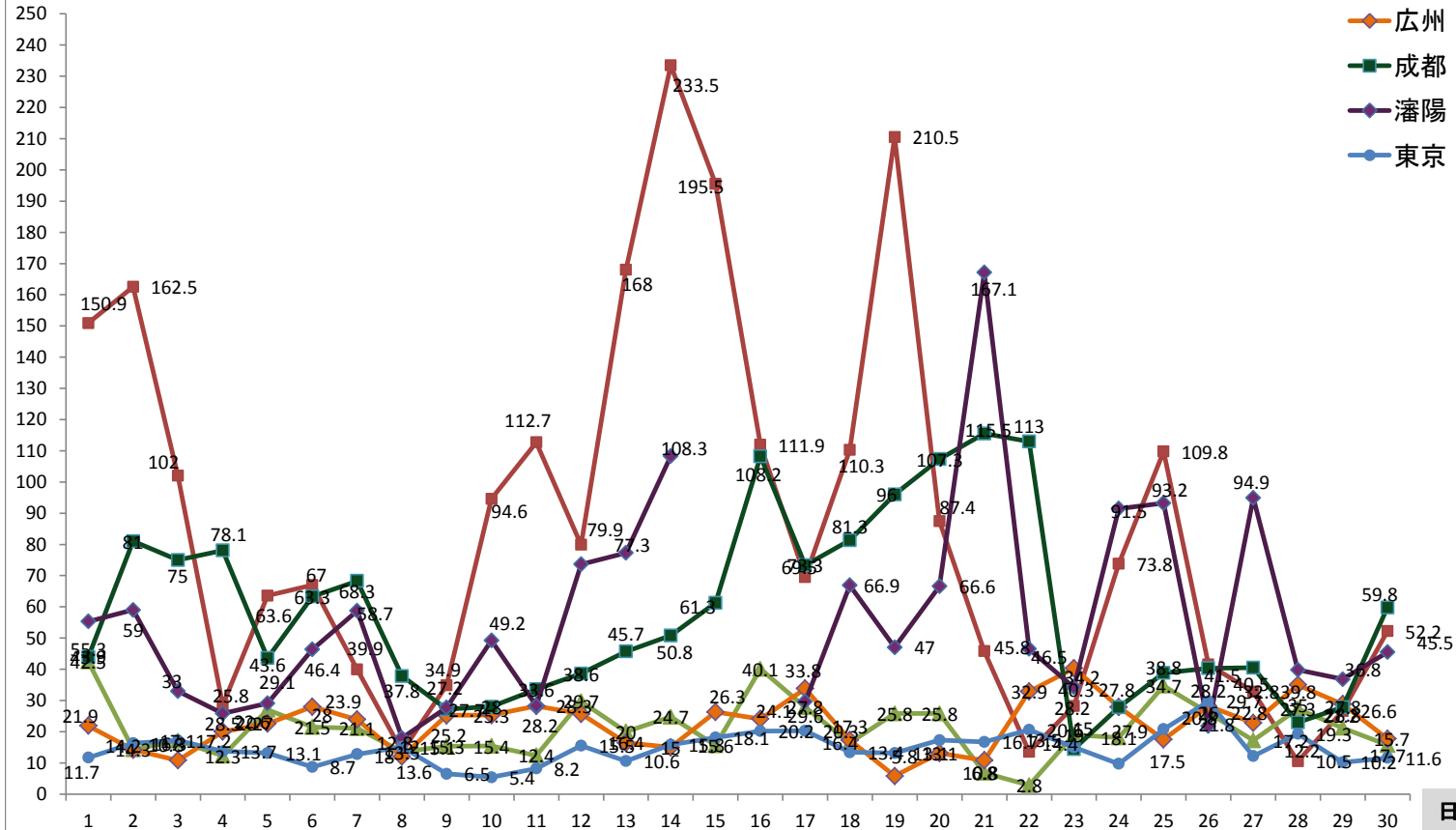


PM2.5数値
μg/m³

2016年10月のPM2.5



PM2.5と中国におけるマスク

イーストウェストメディカルセンター・櫻華メディカルセンター医療研究班

2013年に、中国で流行語となった「霧霾wumai」との言葉をご存知ですか？ 以前は、土や埃などを多く含むよどんだ大気、スモッグを意味していました。現在は、基準値を超えた高濃度のPM2.5を含む空気を指しています。そして今日の中国人の日常生活において、もはや切り離せないキーワードとなっています。

2015年北京市においては、年間の半数に近い179日もの間、基準値を超える大気汚染が報告されました。本年11月初めに、河北省石家庄市の空港で、「霧霾」を原因とする欠航や遅延が200便を超え、中国華北地区では再び大気汚染黄色警報が発令されています。2013年10月、WHOの専門組織・国際がん研究機関(IARC)は、PM2.5を含む大気汚染物質の発がんリスクを5段階からなる危険度のうち最高位へ分類。PM2.5を含む大気汚染とがんの因果関係をWHOが認定しました。医学的統計において、大気中のPM2.5が増加する時、人体の疾病への罹患率や死亡率の上昇、とりわけ小児の健康への影響が指摘されています。

河南理工大学資源環境学院・唐軍婷氏は、PM2.5による大気汚染から個人レベルで自己の健康を守るには、心理面での安定や食事、室内にて空気清浄機等の設備の設置に配慮することを呼び掛けています。そして室外においては、PM10、PM2.5などの有害物質をろ過するマスクを装着する必要性を述べています。唐氏は国内の市場で販売されているマスクが、きちんとPM2.5などの有害物質の防御に対応できていないことを具体的問題点などを通して、指摘しました。このようななかで中国は、国内でPM2.5を防御できる適切なマスクの基準を制定し、2016年4月に中国国家標準化管理委員会等により「日常防護型マスク技術規範」として発布しました。これは国民がPM2.5から有効にその身を防護できるようにマスクの品質を国家基準として明確化し、なかでもPM2.5の濃度に対して、マスクに4段階の等級を設けるなど具体的な規定を示し、本年11月1日より正式に施行を開始しました。

PM2.5の環境基準

	年平均値	日平均値	備考
中国	35 μg/m ³	75 μg/m ³	
日本	15 μg/m ³	35 μg/m ³	
韓国	25 μg/m ³	50 μg/m ³	
米国	12 μg/m ³	35 μg/m ³	
EU	25 μg/m ³	—	
WHO	10 μg/m ³	25 μg/m ³	指針値

	2016年10月度月平均値
北京	83.2 μg/m ³
上海	21.0 μg/m ³
広州	22.3 μg/m ³
成都	58.5 μg/m ³
瀋陽	54.9 μg/m ³
東京	14.9 μg/m ³

本資料は、2016年11月10日現在の環境省「PM2.5モニタリングデータ(海外)」の日平均値を基に、当院において作成しております。尚、数値は、一定期間の精査を経て、修正される場合があります。詳しくは、同省HPをご覧ください。

東京は千代田区神田司町の日平均値を記載。

※10月15日、16日の瀋陽の数値は、データの開示無し。